

SAMPLE

特集レポート No. 058

駐車場ビジネスの動向

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- これまで、駐車場に関するビジネスは、個人・法人による遊休地の活用や、商業施設などの営業に付随する業務として、手がけられることが多かった
- しかし近年は、駐車場の需給の緩みから空き駐車場対策のニーズが高まり、空いている駐車場を一括で借り上げ独自に運営するサブリース事業などといった新たな動きが現れるようになってきている
- 本レポートでは、駐車場ビジネスに関する環境の変化を整理し、それに対応して現れた新たな動きを紹介し、ITインフラの発達やカーシェアリングの浸透といった影響と合わせ、今後の業界の行方を推察する一助とする

本資料の流れ



- I. 駐車場ビジネスの新たな動き
- II. 駐車場市場の動向
- III. 事例
 - 1. パーク24
 - 2. 日本駐車場開発
- IV. 今後の展開の可能性

駐車場ビジネスの概況

- 国内は駐車場不足がある程度解消され、かつてほど政策中心で駐車場の整備が推進される状況ではなくなってきた
- マンションなどの空き駐車場対策がサブリースなどの新たなビジネスチャンスに

マクロ環境の変化

- 国交省は、駐車場不足の時代には車室増加策を推進していたが、現在は適正化に向けた調整役といった位置づけへ

- 乗用車保有台数は6,000万台でほぼ横ばい
- 駐車場の車室数は堅調に増加
 - － 実需が変動するなか、自治体の基準に則った設置が続く

- ナンバープレート認識、車両認識、遠隔駐車場管理システムなどの進化


駐車場ビジネスの動き

- 官主導の車室数増加は一段落へ
- 需要と供給のギャップをうまく埋められる事業者が成長

- マンションの空き駐車場増加によるサブリースビジネスの成長
 - － 日本駐車場開発など

- IT活用をベースとした新たなビジネスモデルが台頭
 - － パーク24など

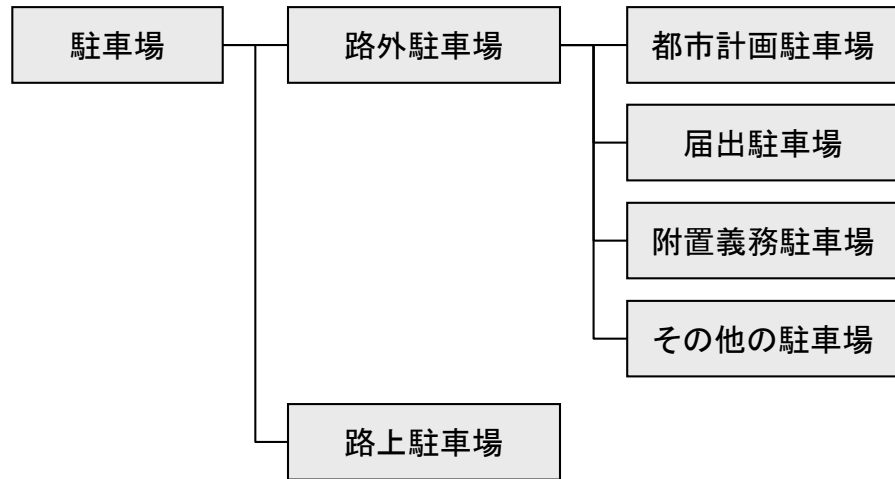
本資料の流れ

- I. 駐車場ビジネスの新たな動き
-  II. 駐車場市場の動向
- III. 事例
 - 1. パーク24
 - 2. 日本駐車場開発
- IV. 今後の展開の可能性

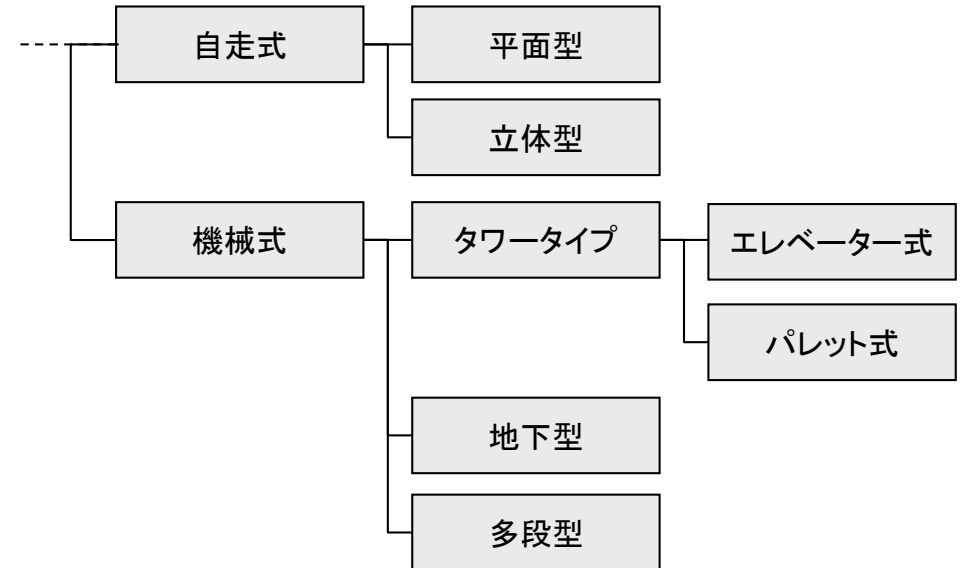
駐車場サービスの形態

- 駐車場サービスはさまざまなタイプが存在

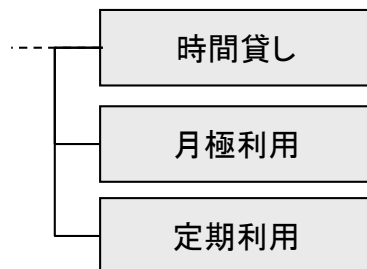
法的分類



ファシリティタイプ別



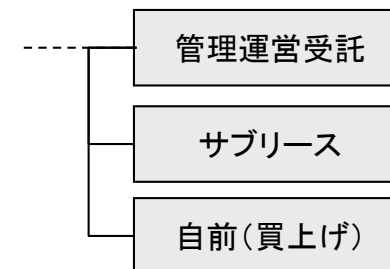
料金体系別



管理形態別



運営形態別



SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

